

『専門学校を卒業する』ということは、皆さんは2年後に社会人となります。
「社会人」＝「働くこと」とは何かを考えてみましょう。

<働く> と <必要なお金> のこと

将来やりたいことがある！と考えて専門学校に入学をしたと思いますが、社会人になると自分で生活をするために、様々な費用<お金>が必要になります。

★日本で生活するのにかかるお金

収入がある限り【**健康保険・年金・住民税・所得税**】は、収入や年齢に応じた金額を国に納めなければなりません。
これらは、社会人として日本で生活するために義務付けられています。

<福利厚生がしっかりしている正社員や契約社員>

会社から給料をもらうようになると、上記の払わなければいけないお金以外に、【**社会保険料**】として毎月の給与明細から差し引かれたものが、手取りの給料となります。中でも、健康保険や厚生年金については会社が半額負担することになっています。

例) 初任給：20万－社会保険料3万＝手取り17万

※**福利厚生**とは…企業が従業員とその家族のために設けた制度や施設、保険・住宅・教育などに支出する<賃金以外の諸手当>

住居（家賃補助、社員寮、貸付金等）
保険（健康保険、厚生年金、雇用保険、労災、団体保険等）
年金（厚生年金、共済年金、企業年金等）
勤労者財産形成貯蓄、子育て支援、資格支援、保養施設、社員食堂、社員旅行、クラブ活動、実業団の補助
※全額経費として算入できる。この支出が多いと、社員の事を大切にしてくれる会社？

<アルバイト>

税金については基本的に全て自分で支払わなければなりません。アルバイト先で、労働保険・雇用保険・所得税が差し引かれることはあっても、健康保険・年金・住民税は全額自己負担で払うことになります。

<働く> と <責任>

給料をもらっている限り、仕事に関するすべての事柄において自分に責任が伴います。

態度・言葉遣い・礼儀などは学生時代と同じく当然のマナーですが、社会人になって気をつけないといけないのが、
【**スケジュール（時間）管理・ミス**】です。

例えば、遅刻をしてしまうと予定していた仕事が遅れ、場合によっては会社に多大な金額の損失が出る場合があります。
学生の頃は、謝れば済んでいたものも、社会に出ると謝るだけではどうにもなりません。

1人の責任は会社内の連帯責任となり、自分の周りの人も責任を取らなければならなくなるのです。

実際に行動するのは自分1人だとしても、会社という組織に属する一員であることを自覚し、何事も責任感を持って取り組みなければならないのです。